

●FIセッティング

同エンジンを搭載するCBR400Rと比較して、低中速を重視した400X専用のセッティングを施し、低中回転域での力強いトルクの盛り上がり感を実現。クランク角検知システムを一新し、1回転あたりの検知を、従来より約2.6倍の頻度に細分化しました。より細かな制御を可能とした事で、ライダーのスロットル操作に対しリニアリティーに優れた乗り味を生み出しています。

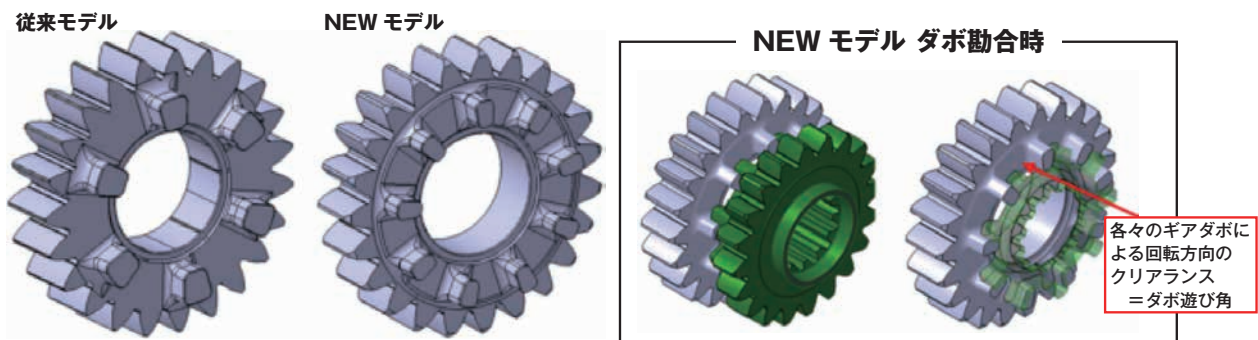
■センシングピッチの細分化



●トランスミッション

ドッグ形状の変更を図るとともにドッグの本数を増やし遊び角を減少させた事で、スロットルのオン/オフ時のラッシュ性能を向上。シフトチェンジのフィーリング向上を図るとともに、軽量化を実現しています。

■ドッグ構成新旧比較



●アシストスリッパークラッチ

CBR1000RRと同構造のアシストスリッパークラッチを採用し、クラッチレバー操作荷重を従来モデルに比べ45%低減。クラッチ操作の扱いやすさと、ストップ&ゴーの多い渋滞路走行や、ロングツーリング等での疲労軽減に寄与しています。また急激なエンジnbr레이크を抑制する事で、特にタイヤロックしやすいダート路面においてもタイヤロックのタフネス性を高め、安心したライディングに寄与しています。